

つきたい力

取組みの概要・ポイント

- ①取り出した情報を自分の考えと結び付けて表現する力
- ②複数の資料関連付けながら筋道立てて考え、自分の考えをまとめる力
- ③言語活動を通して児童が主体的に学習し解決することができる力

- ・ 説明文の「読むこと」を「書くこと」にいかすための手立てを考える。
- ・ 手立てや評価を具体的に考えるために評価物や例文を作る。
- ・ 思考を深めるために「考えを持つ」「交流する」「まとめる」「伝える」場面を設定する。

具体的な取組みの内容 「読むこと」を「書くこと」にいかす

①大切な言葉を選び出す。

- 構成を読み取る
- 筆者の考えをとらえ、自分の考えをまとめる

読む

筆者の考え(問いと答え)や理由と事例に色分け・線を引く
 4年「世界にほこる和紙」



構成の分かるワークシートの作成・全文提示
 5年「言葉の意味が分かること」



重要な語や文を選びだす。要約する。

1年「くちばし」「うみのかくれんぼ」

「何が」「どこに」「どのように」



「みりよく」「理由」「例」「写真」

書くために学ぶ

使うことで定着

書く

②子どもの思考を整理するためのツールを各学年に合わせて設定
 ○成果物(意見文 リーフレットなど)を書く

- モデル文の作成
- ゴールイメージの提示
- 書くポイントの確認
- 既習の説明文でふり返り
- セルフチェックシート



思いが書けている

ちえに合った文

低…大切な言葉に線を引く

中…項目ごとに色分けして表にまとめる

高…主張と事例に色分けして構成を検討

ロイロノートの活用

経験や生活と結びつけ自分の思いを表現
 支援学級「運動会に来てほしい気持ちを伝えよう」

理解したことに元づいて考えを書く
 自分の意見と事例の整合性や構成を意識
 6年「時計の時間と心の時間」

学習した説明の仕方を活用して書く
 1年「海のかくれんぼ」かくれんぼ図鑑を作ろう。
 3年「すがたを変える大豆」ひみつブックを作ろう。



詳しいとりくみはこちらから→



ペア学習やグループ学習
 考えを持つ→交流する→まとめる→伝える

わいわいタイム

- ポイントを確認する
- 良さを見つける
- 異なる考えに気付く
- レベルアップのため助言し合う



取組みを通しての子どもの変容

書くのが苦手だった子どもに書こうとする意欲や書けたと喜ぶ姿ねばり強さがみられるようになってきた。ゴールを示すことで主体性が高まり、書くことへの抵抗感も減ってきた。評価テストが1学期から2学期で伸びた。40%→75.4%
 アンケート 自分の考えを伝えるとき、相手や目的などを意識して伝え方を工夫している79,1%→79,9%

